サポート情報記事

項目へのリンクとオンライン エディターへのリンク: Short URL Online での対象リンクタイプの選択

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

2 つのリンクタイプ 4

リンクタイプを変更する方法 4

オプションを選択できない場合 5

アクセス権 5

用語 6

はじめに

Short URL コマンドでドキュメントまたはフォルダーの短縮リンクを作成すると、ダイアログに　**対象リンクタイプ**　オプションが表示されます。このオプションによって、短縮リンクがアイテムのどのアドレスに移動するかが決まります。この記事では、2 つの選択肢と、適切なものを選ぶ方法を説明します。

短縮リンクを作成する手順については、KB10471. SharePoint Online でドキュメントまたはフォルダーの短縮リンクを作成する方法 を参照してください。

2 つのリンクタイプ

オプション	短縮リンクの移動先	一般的な用途
項目へのリンク	**SharePoint** 上のドキュメントまたはフォルダーの通常のアドレスです。これが既定値です。	一般的な共有。アイテムは、SharePoint が通常開く方法で開きます。
オンライン エディターへのリンク	SharePoint が提供する、ドキュメントをオンライン エディターで開くためのアドレス (アイテムの埋め込みアドレス) です。	受信者がブラウザーで表示または編集するドキュメントを送信する場合。

オプションを切り替えると、グループの下に表示される **リンクの URL** が、選択したタイプのアドレスに変わります。そのため、保存する前に、短縮リンクの移動先を正確に確認できます。

リンクタイプを変更する方法

1 ライブラリでアイテムを選択し、**Short URL** をクリックします。
2 **対象リンクタイプ** グループで、**項目へのリンク** または **オンライン エディターへのリンク** を選択します。
3 **リンクの URL** を確認します。
4 **更新** をクリックします。

同じアイテムに対して次回ダイアログを開くと、保存したタイプが表示されます。

オプションを選択できない場合

選択したアイテムに対して SharePoint がオンライン エディターのアドレスを提供しない場合、**対象リンクタイプ** グループは無効になり、**項目へのリンク** のみ使用できます。ダイアログが変更内容を保存している間も、このグループは無効になります。

メモ

オンライン エディターのアドレスは、アイテムごとに SharePoint から提供されます。Vitextra Short URL Online がこのアドレスを作成することはないため、**オンライン エディターへのリンク** を使用できるかどうかは、アイテムと SharePoint 環境によって異なります。

アクセス権

短縮リンクは、アイテムのアドレスにリダイレクトするだけです。アクセス許可は付与されません。リンクをたどるユーザーは、SharePoint 上のドキュメントまたはフォルダーへのアクセス権を持っている必要があります。持っていない場合、SharePoint でサインインを求められるか、アクセス拒否のメッセージが表示されます。

警告

チーム外のユーザーに短縮リンクを送信する前に、SharePoint でそのユーザーとドキュメントが共有されていることを確認してください。

ヒント

Web ページや外部リソースのアドレスだけを短縮したい場合は、代わりに Short URL Web パーツを使用します。KB10475. Short URL Web パーツをページに追加する方法 を参照してください。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。